

# 沖縄にマングローブはどれだけのこっているか

うるま市立宮森小学校  
1年 禰保夢羽

## 1. 目的・動機

### 目的

この研究の目的は、沖縄で海辺から川辺に見られる「マングローブ」が、沖縄本島にどのくらい生えているのかを調べることです。

### 動機

この研究の動機は、近所の川に生えていたマングローブが、工事で切り取られていたのを見て、「かなしいことだな」と感じ、『ほかの海や川のマングローブはいま、どうなっているのだろう、まだたくさん生えているのかなあ。』と調べてみたくなったことがきっかけです。

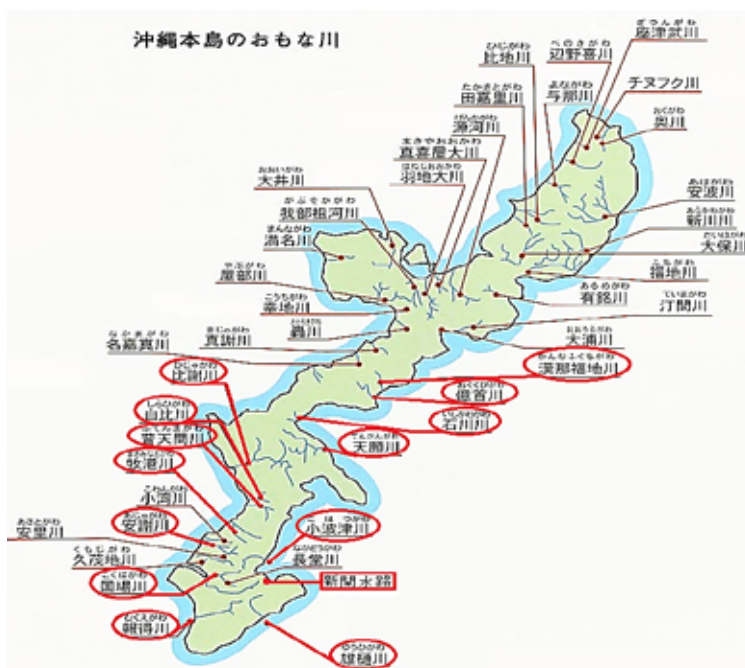
## 2. 方法・内容

- (1) インターネットで検索した「沖縄河川マップ」の『沖縄本島のおもな川』(下部↓)という資料から、調べに行く川を決めました。今回は、沖縄本島の南部から中部の一部の川までを調べました。
- (2) 地図で場所をさがしながら、目的地の川を一つ一つまわりました。そして、川沿いの道を通ることができたときは、下流(河口)・中流・上流のほうまでたどって、各两岸の写真をとりました。また、各川の流域の特徴や、他の川とのちがいなど、気づいたことも記録しました。
  - a. マングローブが生えていた川では、生えている範囲を測定するために距離測定器を使って、河口から生えている範囲までの距離をはかりました。ただし、一部の川(国場川)は、途中にある橋(真玉橋)からの距離もはかりました。

生えている範囲の記録例(書き方)
------------------

 河口より何m地点～何m地点
  - b. マングローブが生えていなかった所(川)では、同じ川でも、生えている所と生えていない所のちがいをたしかめました。また、全流域にまったく生えていなかった川の周囲のようすもかくにんしました。

## 3. 結果



ゆうひ  
雄樋川 (八重瀬町)

むくえかわ  
報得川 (糸満市)

下流 中流

雄樋川の河口のほうには漁港があり、中流から上流までは畑が多い所です。下流から上流までは護岸が続いていて、マングローブは全流域に生えていませんでした。

下流 中流 上流

報得川は住宅街をまっすぐ流れていて、川幅もけっこう広いです。上流先は石がいっぱいあります。河口から上流まで、完ぺきに護岸されていて、マングローブは全流域に生えていませんでした。

国場川 (那覇市)

生えている範囲：  
下流 (明治橋) より 1.5 km地点～真玉橋、真玉橋～上流へ約 1 km地点

護岸のため、生えていない

漫湖公園の川辺↑ (伐採のあとがあった)

片側にまばらに生えている↑↓

対岸は護岸↓

上流方向へ護岸が続いている↓

1.5 km 地点

明治橋

下流

漫湖公園の対岸↑ (両岸に2~3m幅で集まって生えている)

真玉橋

真玉橋

上流へおよそ 1 km地点

国場川の河口～下流にある明治橋～1.5 km地点までは完全に護岸のため、マングローブは生えていません。特徴的だったのが、真玉橋～上流方向へ約 1 km地点までに生えているマングローブは、片側の岸にだけ、護岸のすぐ前に生えていて、生えていない対岸には、護岸の上に他の草木 (雑草) がいっぱい生えていました。

安謝川 (那覇市)

生えている範囲：河口(てだこ橋)～1.2 km地点

てだこ橋

てだこ橋

河口

←約 20m→

←約 40m→

1.2 km

上流

安謝川の河口のほうは、完ぺきな護岸で全く生えていませんでした。しかし、河口のてだこ橋～1.2 km地点には、マングローブが2カ所、幅約 20mと約 40mで生えていました。上流 (安岡中エリア) は、生えていませんでしたが、他の草木や雑草で覆われていました。

「新開水路」(南城市)

生えている範囲：河口～700m地点



河口 中流 上流近く  
中城湾 700m地点

途中で見つけた、南城市にある「新開水路」には、たくさんのマングローブが河口のほうから、兩岸にきれいに並んで生えていました。生えていない所は、護岸になっていました。また、上流のほうは、川幅が細くなって、雑草がけっこう生えていました。


小波津川(西原町)



中流途中の橋 工事の看板 中流

小波津川は住宅街を流れています。工事のため、河口までは行けませんでした。下流には、他の草木が生えていました。中流から上流まで護岸が続いていて、マングローブは生えていませんでした。


牧港川(浦添市)



河口 中流 上流

牧港川の河口から中流は市街地を流れています。上流は住宅街にあって、上流の先は、石や他の草木でおおわれていました。マングローブは護岸のため、全流域に生えていませんでした。

普天間川(宜野湾市)



河口(ニライ橋) 中流

普天間川は、中流途中から上流まで、米軍基地の中にあるため、調査不可でした。河口にあるニライ橋から中流途中までは、護岸のため、マングローブは生えていませんでした。


白比川(北谷町)



河口 中流 上流

白比川の中流は、途中から上流方向に細く谷のようになっています。上流は、雑草と石だらけでした。河口から上流まで、完ぺきに護岸され、マングローブは全流域に生えていませんでした。

天願川(うるま市)



河口 中流 上流

天願川の上流先はゴルフ場になっていて、上流の小川は水が透き通り、水草もたくさん生え、きれいでした。中流の途中にも水草がたくさん生えていて、きれいでした。マングローブは護岸で全流域に生えていませんでした。

億首川(金武町)のマングローブ林も調査しましたが、生えている様子が人工的に植えられたようだったので、報告対象外としました。



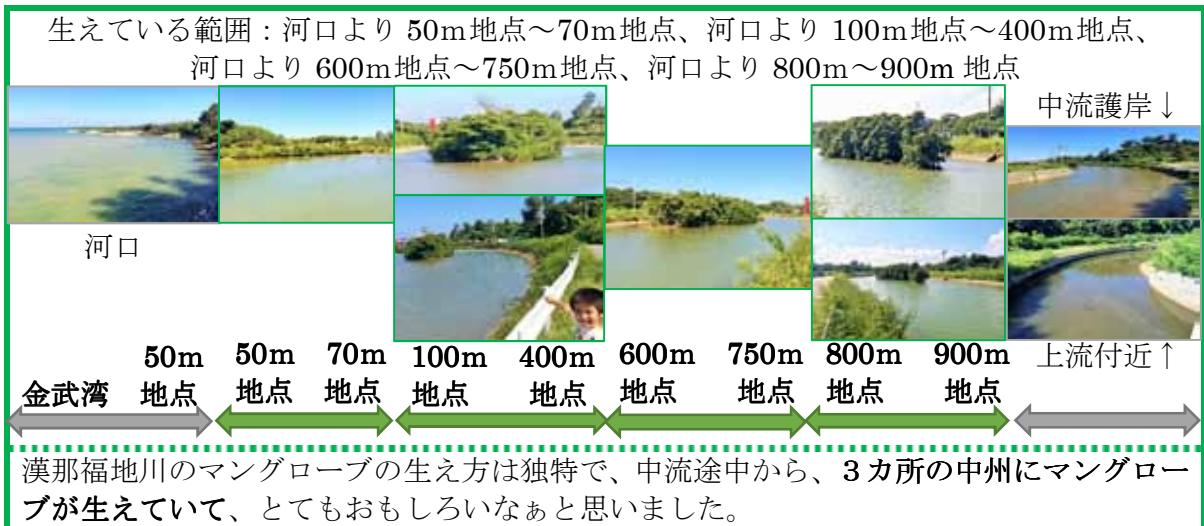
石川川（うるま市）



比謝川（嘉手納町）



漢那福地川（宜野座村）



4. 考察

結果からわかったことの1つ目は、護岸されている所は、マングローブはほぼ生えていなかったことです。わかったことの2つ目は、マングローブが生えていない川でも、水草や特に上流のほうは、他の草木（雑草）がたくさん生えていたことです。わかったことの3つ目は、マングローブが生えている所は、生き物（カニ、ハゼ、鳥など）が集まってくることです。来年は、残りの中部と北部の川をまわりたいです。